

電気学会研究会 共催・協賛・後援手続きのご案内

電気学会事業サービス課

<研究会の共催手続き>

1. 「研究会共催依頼状」(様式 1) を作成し、相手学協会等に共催を依頼する。
※「研究会共催依頼状」(様式 1) 作成の詳細は、P3 以降の研究会共催依頼状「**作成方法**」および「**作成見本**」をご参照ください。
2. 相手学協会等より共催を「承諾する」旨の回答書を受領したら、研究会企画シートの「共催(連催)」欄を記入し、研究会企画シートに「研究会共催依頼状」(様式 1) と回答書を添付して、事務局の部門担当に提出する。
※研究会企画シート提出までに回答書を受領できなかった場合、「共催(連催)」欄は記入なし、回答書の添付なしで、研究会企画シートをご提出いただいて構いません。回答書を受領し次第、共催団体が追加になることを事務局の部門担当にご連絡ください。

<電子情報通信学会との共催(連催)の場合>

- 電子情報通信学会との共催は、特に「連催」と呼ばれています。
- 電気学会と電子情報通信学会は、研究会を連催するにあたって、著作権処理に関して「研究会の開催に関する覚書」^(注1) という包括的、恒常的な覚書を締結しています。これによって、研究会の連催手続き時に必要な著作権処理は完了しておりますので、研究会個別に「研究会共催依頼状」(様式 1) によって、連催手続きを行う必要はありません。研究会企画シートの「共催(連催)」欄に「電子情報通信学会」とご記入いただくだけで、手続き完了となります。
- 業務の分担や経費の負担については、従来通り、各研究会の手法でご相談、ご調整ください。
なお、「研究会共催依頼状」(様式 1) の「論文の著作権」欄を「研究会の開催に関する覚書による。」と書き換えて、このフォーマットを活用することも差し支えありません。

(注 1) 電子情報通信学会と研究会を共同で開催する場合、電気学会と電子情報通信学会それぞれで論文を募集し、それぞれで投稿された論文をひとつの予稿集にまとめて、電気学会では研究会資料、電子情報通信学会では技術研究報告として、それぞれ発行している。これはそれぞれが集めた論文の著作権を両学会で共有して為されているわけではなく、他方が集めた論文の 1 次利用を双方が許諾する形で行われているが、この許諾手続きは、研究会の都度、行うのではなく、電気学会と電子情報通信学会の間で「研究会の開催に関する覚書」を締結することによって包括的、恒常的に許諾する形で実施されている。

<研究会の協賛・後援手続き>

- 従来通り、各研究会の手法で、協賛・後援団体をご調整ください。
- 決定した協賛・後援団体は研究会企画シートの「協賛」「後援」欄にご記入の上、事務局の部門担当にご連絡ください。研究会企画シート提出後に協賛・後援が決まった団体については、その都度、事務局の部門担当にご連絡ください。

<その他>

- 調査専門委員会が企画・運営に携わっていることを表したい場合は、これまで通り「協賛」としてください。

以上

作成方法

共催を依頼する先の学協会等の宛先を記載

〇〇学会 〇〇委員会
委員長 〇〇 〇〇 殿

研究会名を記載

電気学会〇〇研究会 共催の依頼について

主催技術委員会名を記載
合同研究会の場合は委員会名を並記

主催技術委員会名と委員長名を記載
(専門委員会委員長名は不可)
合同研究会の場合は委員会名、委員長名を並記

電気学会 〇〇技術委員会
委員長 〇〇 〇〇

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、電気学会〇〇技術委員会は下記のとおり研究会の開催を企画しております。つきましては、本研究会をより一層有意義なものとするため、貴会に共催いただきたくお願い申し上げます。

お手数ではございますが、共催の可否を別紙「回答書」にご記入の上、〇年〇月〇日までに電子メールにて下記本件連絡先までお送りいただければ幸甚でございます。

なお、共催いただけましたならば、貴会会員の方の本研究会参加費は無料とさせていただきます。

敬具

回答締切年月日を記載

記

研究会名：電気学会〇〇研究会 ← 研究会名を記載

開催日：〇年〇月〇日（予定） ← 開催日を記載

開催場所：〇〇（予定） ← 開催場所を記載

会員からも参加費を徴収する研究会の場合、以下に差し替えます。

弊社会員と同額で対応させていただきます。

論文の著作権：著者には、電気学会研究会電子投稿システムを通じた電子投稿時の同意により、日本国著作権法第21条から第28条に規定するすべての権利（以下、著作権という）を電気学会に譲渡していただきます。また、電気学会研究会資料の著作権は電気学会が所有いたします。

参加費収入および電気学会研究会資料の販売によって生じる収入：電気学会の収入に計上いたします。

研究会開催のための支出：貴会ご負担分を除き、電気学会の支出に計上いたします。

貴会のご負担：〇〇〇〇

その他 貴会会誌やホームページ等に本研究会開催案内を掲載してくださいますようお願い申し上げます。体裁や掲載時期はお任せいたします。

青枠内は
変更しないで
ください

共催を依頼する
先の学協会等に
負担いただく内
容を記載

〇〇〇〇

その他、共催を依頼する
先の学協会等に依頼、連絡す
ることがあれば記載（なけ
れば〇〇〇〇を削除）

【本件連絡先】

担当者名：〇〇 〇〇

所 属：〇〇

E-mail：〇〇〇〇

共催依頼状の送付等、実務を
担当される方の情報を記載

以上

電気学会 ○○技術委員会
委員長 ○○ ○○ 宛

主催技術委員会名，委員長名
を記載

E-mail : ○○○○ (本件連絡先担当者 E-mail を記載)

【本件連絡先】の E-mail を記載

注意書きは削除

回 答 書

研究会名を記載

電気学会○○研究会の共催を

☐ 承諾する

☐ 承諾しない

(いずれかにチェックを入れてください)

回答日： 年 月 日

貴団体名：

代表者（承諾者）役職・氏名：

<連絡先>

担当者名：

E-mail：

<連絡事項等>

2023 年 4 月 15 日

電気国際学会 AI 委員会
委員長 電気 太郎 殿

電気学会静止器研究会 共催の依頼について

電気学会 静止器技術委員会
委員長 工学 三郎

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、電気学会静止器技術委員会は下記のとおり研究会の開催を企画しております。つきましては、本研究会をより一層有意義なものとするため、貴会に共催いただきたくお願い申し上げます。

お手数ではございますが、共催の可否を別紙「回答書」にご記入の上、2023 年 5 月 30 日までに電子メールにて下記本件連絡先までお送りいただければ幸甚でございます。

なお、共催いただけましたならば、貴会会員の方の本研究会参加費は無料とさせていただきます。

敬具

記

研究会名：電気学会静止器研究会

開催日：2023 年 10 月 20 日（予定）

開催場所：東京コンベンションセンター 501 会議室（予定）

論文の著作権：著者には、電気学会研究会電子投稿システムを通じた電子投稿時の同意により、日本国著作権法第 21 条から第 28 条に規定するすべての権利（以下、著作権という）を電気学会に譲渡していただきます。また、電気学会研究会資料の著作権は電気学会が所有いたします。

参加費収入および電気学会研究会資料の販売によって生じる収入：電気学会の収入に計上いたします。

研究会開催のための支出：貴会ご負担分を除き、電気学会の支出に計上いたします。

貴会のご負担：会場費の一部として、20,000 円のご負担をお願いいたします。

その他：貴会会誌やホームページ等に本研究会開催案内を掲載していただきますようお願い申し上げます。体裁や掲載時期はお任せいたします。

以上

【本件連絡先】

担当者名：連系 六郎

所 属：電気国際大学

E-mail：renkei@iee.or.jp

電気学会 静止器技術委員会
委員長 工学 三郎 宛
E-mail : renkei@iee.or.jp

回 答 書

電気学会静止器研究会の共催を

☐ 承諾する

☐ 承諾しない

(いずれかにチェックを入れてください)

回答日： 年 月 日

貴団体名：

代表者（承諾者）役職・氏名：

<連絡先>

担当者名：

E-mail：

<連絡事項等>

2023 年 4 月 15 日

電気国際学会 AI 委員会
委員長 電気 太郎 殿

電気学会静止器/回転機合同研究会 共催の依頼について

電気学会 静止器技術委員会
委員長 工学 三郎
電気学会 回転機技術委員会
委員長 電磁 五郎

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、電気学会静止器/回転機合同技術委員会は下記のとおり研究会の開催を企画しております。つきましては、本研究会をより一層有意義なものとするため、貴会に共催いただきたくお願い申し上げます。

お手数ではございますが、共催の可否を別紙「回答書」にご記入の上、2023 年 5 月 30 日までに電子メールにて下記本件連絡先までお送りいただければ幸甚でございます。

なお、共催いただきましたならば、貴会会員の方の本研究会参加費は無料とさせていただきます。

敬具

記

研究会名：電気学会静止器/回転機合同研究会

開催日：2023 年 10 月 20 日（予定）

開催場所：東京コンベンションセンター 501 会議室（予定）

論文の著作権：著者には、電気学会研究会電子投稿システムを通じた電子投稿時の同意により、日本国著作権法第 21 条から第 28 条に規定するすべての権利（以下、著作権という）を電気学会に譲渡していただきます。また、電気学会研究会資料の著作権は電気学会が所有いたします。

参加費収入および電気学会研究会資料の販売によって生じる収入：電気学会の収入に計上いたします。

研究会開催のための支出：貴会ご負担分を除き、電気学会の支出に計上いたします。

貴会のご負担：AI セッションの論文募集および研究会当日の運営にご協力ください。経費のご負担はございません。

その他：貴会会誌やホームページ等に本研究会開催案内を掲載していただきますようお願い申し上げます。体裁や掲載時期はお任せいたします。

以上

【本件連絡先】

担当者名：連系 六郎

所 属：電気国際大学

E-mail：renkei@iee.or.jp

電気学会 静止器技術委員会 委員長 工学 三郎
電気学会 回転機技術委員会 委員長 電磁 五郎 宛
E-mail : renkei@iee.or.jp

回 答 書

電気学会静止器/回転機合同研究会の共催を

☐ 承諾する

☐ 承諾しない

(いずれかにチェックを入れてください)

回答日： 年 月 日

貴団体名：

代表者（承諾者）役職・氏名：

<連絡先>

担当者名：

E-mail：

<連絡事項等>